

【参考】志木市の保健事業について

健診受診促進						
事業名	4市合同特定健診受診率向上キャンペーン	受診勧奨通知及び電話勧奨、懸垂幕及びポスターによるPR	国保セット健診	4市外及び定期通院等での受診結果の情報提供 事業者健診データの収集	3年連続情報提供	特定健診受診奨励補助金
目的	健診の受診率向上	健診の受診率向上	健診の受診率向上	健診の受診率向上	健診の受診率向上及び医療機関の受診勧奨	健診の受診率向上
目標(中長期的なもの)	若年者の健診受診率向上	全世代の健診受診率の向上	若年者および未受診者の健診受診率向上	健診受診率の向上	連続健診受診率の向上	健診受診率の向上
対象(状態像・人数)	市民	国民健康被保険者(40~74歳)	国民健康被保険者(40~74歳)	今年度健診を受診した国民健康被保険者	今年度健診を受診した国民健康被保険者	今年度健診を受診した国民健康被保険者
方法	朝霞・新座・和光市と合同で、健診案内や健康測定等を実施。	委託業者より電話勧奨を実施。 懸垂幕は、市役所にかける。	集団健(検)診で、特定健診およびすべてのがん検診をセットで受診可能。	郵送及び窓口での受付	健診結果及び健診に関する冊子、受診勧奨値がある人に関しては、受診勧奨通知を同封。	健診および人間ドック受診後、申請
実施体制	朝霞地区4市	委託業者による電話勧奨	職員及び委託業者	職員 JA、商工会	職員	職員
事業評価	事業アンケート (参加者数及び年齢・性別等)及び集団健診受診者への申し込み理由のアンケート実施後の受診率	勧奨後の受診率	集団健(検)診受診者数のうち、がん検診と併せて受診している人	受診率(法定報告)	受診勧奨通知を封入した人のその後の受診の有無 同封のアンケート	特定健診受診奨励補助金の利用者数
課題	若い年代の受診率が低い					

保健指導(特定・それ以外)

事業名	特定保健指導	HAPPY プログラム	
目的	メタボリックシンドローム予備群及び該当者の疾病予防 多量飲酒による体の健康と精神疾患との関係等アルコール関連問題について普及・啓発 市民の生活習慣病の予防と健康意識の向上		
目標(中長期的なもの)	メタボリックシンドローム予備群及び該当者の減少	適量飲酒ができる人が増える。	
対象(状態像・人数)	平成25年度 積極的支援 142人 動機付け支援 424人	特定健診問診票の飲酒量より対象者を選定し、通知を行った人及び市民	
方法	対象者に個別通知および電話・はがき勧奨	3回コースで講演会・グループワーク等を実施	
実施体制	委託業者による実施	保健所 精神保健福祉士、 保健師 市 保健師	
事業評価	特定保健指導利用率 利用後の健診結果	事業アンケート (参加者数及び年齢・性別満足度等) ・次年度の質問票	
課題	特定保健指導の対象者が毎年同じになってしまい、一度利用すると次年度以降利用しない人が多い。 特定健診結果の生活習慣の質問票を効果的に活用できていない、		

	糖尿病・高血圧等管理				重症疾病
	未治療		治療中		
事業名	運動教室(糖尿病と腎) 8か月コース・3日間コース	運動教室(高血圧・メタボ)	重複頻回訪問	ジェネリック通知	生活習慣病重症化予防対策事業
目的	比較的軽度の糖尿病有病者および予備軍の人に対し、健診後データの見方や、食生活の改善の必要性、運動を実践し、重症化を予防する。	メタボ予備群対象者、高血圧やCKD(ステージ2以上)の対象者へ健診後データの見方や、食生活の改善の必要性、運動を実践することで、生活習慣に取り入れ、健康意識の向上を図る。	重複・頻回受診者等への適切な療養指導を行い、疾患の回復の促進や精神的な不安の軽減等に努め、対象者のQOLの向上を図る。 適正受診の行動変容を促し、医療費の適正化につなげる。	先発医薬品に比べて薬価が低い後発医薬品を普及させることは、患者負担の軽減や医療保険財政の改善に資するものである	糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者を医療に結びつけるとともに、糖尿病性腎症で通院する患者のうち、重症化するリスクの高い人に対して生活指導を行い、人工透析への移行を防止する。
目標(中長期的なもの)	循環器疾患・人工透析に関する医療費の減少。	循環器の疾患に関する医療費の減少。	重複頻回受診者の医療費を増加させない。	後発医薬品を使用する人が増加する。	人工透析に関する医療費を増加させない。
対象(状態像・人数)	平成25年度の特定健診実施者の中からHbA1c5.6%(NGSP値)以上であって、さらに、糖尿病性腎症予防の観点から、CKDステージ2、3に該当している人	平成25年度の特定健診実施者の中から、血圧が受診勧奨値でCKDステージ2、3に該当している人	医科レセプトが重複(3か月間継続して4枚以上)、頻回(月15回以上)の受診者を抽出し、そこから整形外科疾患で受診している人(25回以上受診している場合は除外しない)、精神疾患で受診している人、定期的に受診が必要な者の除いた人	志木市国民健康保険被保険者	健診後未受診や受診中断者への受診勧奨 糖尿病性腎症の病気が第2~4期と思われる人(ハイリスク者)への生活指導
方法	対象者に個別通知 8か月コース及び3日間コースを実施	対象者に個別通知 2日間コースで、1日目に計測及び講話をを行い、2日目に運動を実施	対象者に通知をし、アンケートを返信後、訪問。	協会けんぽ埼玉支部と県の共催により県民を対象としたセミナーを開催 差額通知の中に後発医薬品の案内を同封する。 医療機関・薬局へのポスターの配布	健診後未受診者及び受診中断者へ個別に受診勧奨を通知及び電話・訪問勧奨 ハイリスク者のうち、本人及びかかりつけ医の同意があった人に生活指導を実施する。
実施体制	保健師・管理栄養士 講演会講師・アスレティックトレーナー	保健師・管理栄養士 講演会講師・アスレティックトレーナー	保健師 国保連合会の在宅保健師	埼玉県薬務課 協会けんぽ 健康づくり支援課	かかりつけ医 国保連合会 保健師・管理栄養士
事業評価	足指力・身体測定結果 次年度の健診結果 8か月コースと3日間コースの比較 アンケート(参加者数及び年齢・性別等)	足指力・身体測定結果 次年度の健診結果 アンケート(参加者数及び年齢・性別等)	医療費の比較	医療費の比較 医師会・薬剤師会員へのアンケート	受診の有無 医療費の比較
課題	運動教室参加者に若い世代が少ない。事業参加終了後、継続実施が困難。				

